

令和2年
11月号

地域おこし協力隊新聞



全村博物館構想担当

中田大慈

た「ほんやり様」も来年実施されるのであれば撮影したいと思っています。今年撮影に行けなかった地区に行ければと思っていますので、実施日時や場所など教えていただけると嬉しいです。よろしく願っています。

昨年引き続き下清内路煙火の撮影をさせていただきました。多くの行事が中止となる中、2年続けて同じ行事が撮影できることのありがたさを感じました。奉納の「大三国」

のみの実施となったことで、例年では立ち入ることのできないエリアから撮影をすることができ、貴重な記録を残すことができたのではないかなと思います。今年は少しだけ擦りを体験させていただき、撮影しているだけではわからない擦り方や大変さを感じることができました。「来年は一緒にやろうな」と言っていたいただき、とても楽しみです。

今年撮影させていただき



浪合地区担当

伊藤志野

気が付けばあつという間に冬の気配を感じる季節となりました。体調管理が大変な時期ですね。

さて、鳥獣害対策の進捗ですが現在ではキャベツやネギ、大豆などが被害を受けています。

試験圃場でも先月に電気柵の一部が壊されることがありました。幸い柵の中の作物は無事で、おそらく電気線に触って驚いて逃げたと思われる。この日はちょうど草刈りをしており、草がなくなったその部分から狙われました。どうやら目隠しがあるというのは対策としては有効なようです。また追い払いの活動としては駆逐用煙火の取扱いの講習会を実施しました。一人でも多くの方が安全に取扱えるようになり追い払いをできたらと思いますので定期的に講習会を実施したいと考えています。

9月から浪合郵便局で地区の皆さま



売店ワゴン

んが作った野菜の販売を始めました。浪合地区では作物を育てている方も多いため購入してくださる方は未知数でしたが、予想に反して多くの方に購入していただき生産者の方も喜んでいきます。さらに、9月下旬からは少しですがお菓子や食料品も販売できるようになりました。浪合地区では食料品や日用品等を購入できる場所がないので小さな一歩になったのではと思っています。これを足掛かりに浪合地区でも気軽に買い物できたり、集まれるような場所づくりにつながればと思っています。